

橋梁モニタリングシステム現場の説明会を開催しました。

～維持管理の高度化・効率化を目指して「現場実証」を実施中～

- ◆国土交通省では、社会インフラの維持管理にセンサ等を活用してインフラの状況を客観的に把握するモニタリング技術について、産官学で連携し技術開発等を推進する取り組みを行っています。
- ◆「維持管理の高度化・効率化に係るモニタリングシステムの現場実証」について、公募の結果採択された3団体が、京都国道事務所管内の国道163号相楽高架橋で現場実証を開始しました。
- ◆現地実証を開始した「モニタリングシステム」について、平成27年12月18日に京都府域の各道路管理者向けの「現地説明会」を実施しました。

※モニタリング現場実証

【参加団体】

- ①「汎用機器を用いた橋梁の変状検知システムの実証」
【NEC ネットアイ(株)・(株)熊谷組
・(株)構造計画研究所・(株)アーク】
- ②「光ファイバセンサによる統合センサシステムを用いた維持管理の効率化」
【(株)NTT データ・NTT インフラネット(株)
・(株)TTES】
- ③「3次元橋梁挙動計測システムによる疲労損傷の点検・診断・モニタリング」
【セイコーエプソン(株)
・学校法人五島育英会東京都市大学】

国道163号相楽高架橋（外観）



現地説明会実施状況



モニタリングセンサー機器類



モニタリングデータ収集処理装置



モニタリングセンサー設置状況



モニタリングセンサー設置状況

